

資料1

令和3年（2021年）2月17日

令和2年度 病院関係者と 地域包括支援センター・在宅介護支援センターとの 意見交換会

つくば市在宅医療・介護連携推進協議会事業

つくば市地域包括支援センター・在宅介護支援センター定例会

【お願い】表示名を「組織名（お名前）」として頂けますようお願い申し上げます。

本日の次第

- 1 開会・挨拶(13:30)
- 2 オリエンテーション／(13:30～13:50)
資料確認、ファシリテーター紹介、事前アンケートの共有等
- 3 圏域別グループワーク・発表(13:50～15:05)
- 4 総評・まとめ(15:05～15:25)

次第2 オリエンテーション 資料確認・出席者確認

- ・本資料(資料1) 、黒田参事資料(資料1-1)
- ・連携状況事前アンケート結果(資料2-1、2-2、2-3)
- ・出席者名簿
- ・医療と介護のありたい姿 ロードマップ
- ・在宅医療・介護における 本人・家族のための多職種連携
で気をつけたい10のポイント エチケット
- ・退院前情報共有チェックリスト
- ・お薬手帳チラシ

意見交換会中の質疑について 連絡先の交換について

- ・意見交換会中の参加者、事務局の問い合わせについては、チャット機能をご利用ください。
- ・本意見交換会は現状の課題の共有や解決策について一緒に検討してまいります。顔の見える関係の構築も目的としています。Zoomのチャット機能より適宜行って頂けますよう、お願いいたします。

A blue rectangular box with the word "Zoom" centered in white text. A white speech bubble tail points from the bottom right corner of the box towards the text box on the right.

Zoom

- ・チャットの送信先を《全員》に設定頂くと意見交換会全員に周知できます
- ・個別にご連絡をなさる場合は、送信先を目的の方を選択してください

つくば市からお伝えしたいこと

関連送付資料①医療と介護のありたい姿 ロードマップ②在宅医療・介護における 本人・家族のための多職種連携で気をつけたい10のポイントエチケット③退院前情報共有チェックリスト

【 ありたい姿7の2025年の目標 】

地域包括支援センターは市民、民生委員、専門職等と連携して、地域の潜在的な課題を発見し、予防的に支援することができている。

【この意見交換会で達成したいこと】

- ①退院調整看護師、医療ソーシャルワーカー、地域包括支援センターの役割を参加者及び所属職員、関係機関等が理解すること
- ②医療と介護のありたい姿、在宅医療・介護における 本人・家族のための多職種連携で気をつけたい10のポイントエチケット、退院前情報共有チェックリスト等、地域包括ネットワーク構築や本人中心の意思決定支援について共通認識を持つこと

次第2 オリエンテーション 黒田参事より自己紹介

黒田参事から資料提供

資料1-1

退院時情報提供の加算について

次第2 オリエンテーション 事前アンケートの共有

資料2-1 (EntNs)、2-2 (医療SW)、2-3 (包括在支) 連携状況事前アンケート ご確認ください

アンケートの結果・分析について

- ・退院調整看護師と医療SWの連携は入院時、退院時ともに連携はとれている
- ・地域包括支援センターと退院調整看護師は入院時連携をした事例がないと回答(3割)。理由、包括は入院時の関わりは医療SWとの連携の方が多い、支援業務の役割が曖昧等。包括からは退院調整看護師と医療SWとどちらとやりとりすれば良いか迷うと回答あり
- ・地域包括支援センターと医療SWは退院時の連携はできている。入院時は少ない
- ・連携はケース、センターによる。連携できるときもあるがそうでないときもある。→どんな事例が困難なのか。地域包括支援センターの連携はどの圏域でも対応が平準化できていることを目指す

次第2 オリエンテーション

質問や課題について、退院調整看護師、医療SW
地域包括支援センター職員より、1～3分間スピーチします

- | | |
|---------------|-------------|
| ・退院調整看護師 | 筑波学園病院 竹口Ns |
| ・医療ソーシャルワーカー | とよさと病院 高根SW |
| ・地域包括支援センター職員 | 大穂豊里 佐藤SW |
| ・つくば市地域包括支援課 | 藤田 |

スピーチタイム

各専門職、関係機関の役割

退院調整看護師

医療ソーシャルワーカー

圏域地域包括支援センター

市地域包括支援センター

次第3 グループワーク 13:50ー15:10

時間(目安)	内容
13:50~14:10(20分)	①入院時と退院時、困った事例、連携できなかった事例、連携した方がうまくいったと思う事例。今の現状を確認する。
14:10~14:25(15分)	①発表(全グループ)
14:25~14:55(30分)	②テーマを各グループで選択 (1)①で圏域での課題について具体的な改善案について協議 (2)事務局からの協議テーマ。 入院時、本人の意思が確認できるが、本人が治療を拒否したり、明確な意向かどうか不明。また医療同意を求める親族も不明。本事例で課題になることの改善案を協議。退院調整看護師、医療SW、包括、在支、病院関係者、在宅医療介護関係者、市等との連携・役割も含めて協議
14:55~15:10(15分)	②発表(全グループ)
15:10~15:25(15分)	総評・まとめ

次第4発表 * グループワークの共有①

筑波

大穂豊里

谷田部

桜

荃崎

次第4発表 * グループワークの共有②

筑波

大穂豊里

谷田部

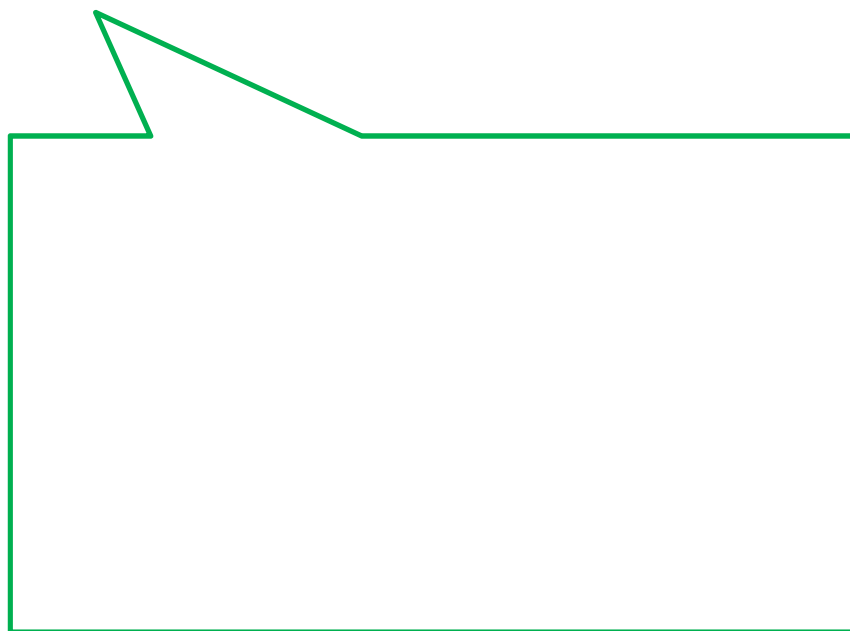
桜

荃崎

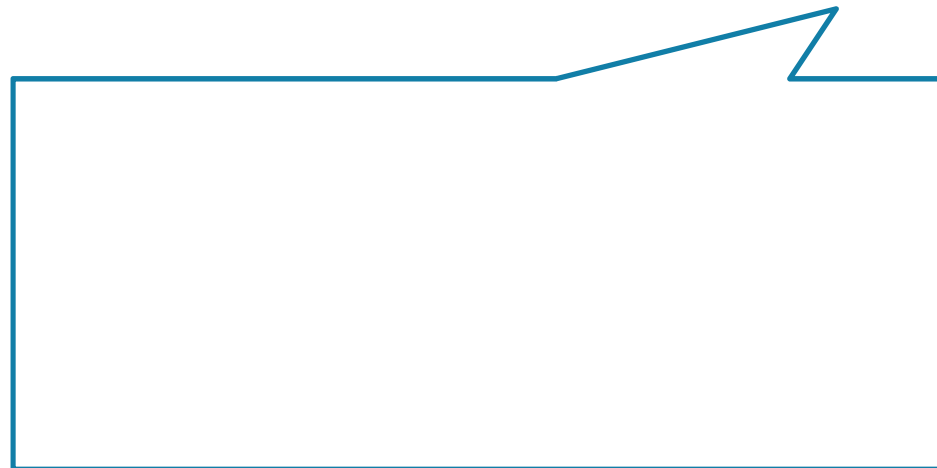
次第5 総評・まとめ

15:10ー15:25

グループワークからの意見

A large rectangular box with a green outline, intended for recording feedback from group work. A green line extends from the top-left corner of the box, pointing towards the text 'グループワークからの意見'.

黒田参事・つくば市

A large rectangular box with a blue outline, intended for recording feedback from Kuroda. A blue line extends from the top-right corner of the box, pointing towards the text '黒田参事・つくば市'.